



指文字
かとうの『か』



加東市手話言語条例

「加東市手話言語条例」は、市民のみなさんに手話言語や聴覚障害についてもっと知っていただき、手話を使われる方々が、自立した生活を営んだり、社会参加しやすくなったりすることを目的に、平成26年に近畿で初めて制定しました。

以来、市では、手話言語のことを知っていたり、手話言語に触れていただいたりするために、「手話奉仕員養成講座」や「かとう手話こ

講座」、「かとう手話フェスタ」を開催しています。また、新しい取り組みとして、令和元年11月24日から30日までの間、「加東市手話強化週間」として、市職員が来庁されたみなさんに、手話で挨拶しました。

今後も、手話言語が、「聞こえる人」と「聞こえない人」との架け橋になり、だれもが希望を持てる明るい加東市の実現のために、様々な施策を展開してまいります。

かとう手話フェスタ2019

市では、たくさんの方に手話についてもっと知っていただくために、また、手話を学ばれている方々のモチベーション向上を目的に、「かとう手話フェスタ」を開催してきました。5回目の開催となる今年は、例年どおり、「手話劇」や「手話うた」など、様々な手話エンターテインメントの発表があるほか、日本手話落語協会会長の桂福團治さんに「手話落語」をご披露いただきます。

日時 2月2日(日) 10時～15時 ※開場は、9時30分

場所 滝野文化会館

内容 手話エンターテインメントの発表、手話カフェ、
桂福團治さんによる講演と手話落語

参加費 無料

健康福祉部社会福祉課(庁舎1階)

担当:大川匠 ☎43-0070 FAX42-6862



かつらふくだんじ
桂福團治さん
落語家
日本手話落語協会 会長

ご自身ののどの手術で3か月間、声が出せなくなった経験をきっかけに、手話を学び始められた桂福團治さんは、昭和56年に、手話落語に挑戦。昭和58年には、手話落語教室を開校され、手話落語を専門とする弟子もいらっしゃいます。

現在も、手話落語が「娯楽」として認識され、誰もが分け隔てなく楽しめる時代がくることを信じ、活動されています。



加東市議会議員

小紫泰良

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのことと市議会を代表しまして、心からお慶び申し上げます。
ここ数年の時代変化のスピードは、過去にないものがあります。要因として挙げられるのが、『インターネット』と『AI(人工知能)』の登場です。
想像を遥かに超える新しい未

来が、すぐにもやってきそうです。私たちは固定観念を持たずに、変化に対応していかなければなりません。
私たち議員一同、令和の時代に入り、この多様化する社会・経済の情勢の変化を的確に捉え、市民の皆様と行政の架け橋としての役割と責任を果たす所存であります。
今後も市民の皆様に分かりやすく開かれた市議会を目指し改

革を進め、政策提言はもとより、行政の監視・チェック機能を高めるとともに、議会の透明性の向上に努め、議員一丸となり、「住みよいまち加東」の実現に向け全力投球で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
本年が市民の皆様にとりまして、笑顔に満ちあふれ、幸せな年になりますことを心より祈念申し上げます。



加東市長

安田正義

令和2年新春のご挨拶を申し上げます。
今年は子年、正確には「庚子(かのえ・ね)」の年に当たります。
庚子の「庚」は、植物の成長が止まって新たな形に変化しようとする状態、「子」は、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態を指します。
今年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。4年に1度の祭典が約半世紀ぶりに東京で開催され、その聖火リレーがここ加東市

を通過する予定です。ぜひ、多くの皆様のご声援をお願いいたします。
一方、昨年自然災害により、各地で多くの方が被災されており、それは、決して他所事ではありません。そのため加東市でも、様々な形での防災訓練や備蓄倉庫の充実に努めております。昨年は、災害時に使用できるマンホールトイレやかまどベンチを備え付けた防災広場が、加東みらいこども園の西側に完成いたしました。
そして、最も重要なことは、一人

ひとりが「自分の命は、自分で守る。自分たちの地域は、自分たちで守る。」という意識と強さを身につけることです。災害というものは、いつ、どこで、起こるかわかりません。「物の備え」は当然のことですが、最後に要となるのは、「人の備え」なのです。
今年一年が、皆様にとって佳き年でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。